

①活動形態 (複数チェック可能)	☒ 保護者等への学びの場の提供 ↳ ☒ 「学習会」「講演」「講座」等の実施・提供 ☒ 保護者への悩み相談を行う場の提供 ☒ 保護者等への地域の居場所づくり ↳ ☒ 親子参加型の体験型プログラムの実施・情報提供 ☒ 日常的な交流の場の提供 ☒ アウトリーチ型家庭教育支援 (※保護者や子どもの居場所に出向いて届ける支援) ↳ ☐ 家庭を訪問して保護者を支援 ☐ 家庭を訪問して子どもを支援 ☐ 企業を訪問して保護者を支援 ☐ 学校・幼稚園・保育所等を訪問して保護者を支援 ☒ 学校・幼稚園・保育所等を訪問して子どもを支援 ☐ 学校・幼稚園・保育所等を訪問して教職員を支援 ☐ その他() ☒ その他(食支援などの生活支援)
②活動対象	☒ 保護者対象 ↳ ☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☒ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 の子どもを持つ保護者に対する活動を実施 ☒ 子ども対象 ↳ ☒ 乳幼児 ☒ 小学生(低学年) ☒ 小学生(中学年) ☐ 小学生(高学年) ☒ 中学生 ☒ 高校生以上 に対して活動を実施

③活動内容

【具体的な活動内容】

meets 福島 futures では、子どもと保護者が安心して過ごせる居場所「MAYU」を拠点に、家庭教育支援および子どもの健全育成といった、「子どもが未来に羽ばたくための支援」を目的とした活動を行っています。

主な活動として、

1. 子どもを対象とした学習支援「とことこまなびい」

一人ひとりの学習状況に応じた支援を行うとともに、大学生ボランティアとの交流を通して、子どもたちの自己肯定感や学ぶ意欲の向上を目指しています。

2. フードパントリーや食支援活動

保護者が安心して子育てできる環境づくりと子どもの成長のため、食のサポートを実施しています

3. 居場所活動

食品の提供だけでなく、利用時には保護者から生活や子育てに関する悩みや困りごとを伺い、必要に応じて関係機関や支援制度の情報提供を行っています。

4. 体験活動

親子で参加できる体験活動やワークショップ、交流イベントを開催し、家庭内のコミュニケーションの促進や地域とのつながりづくりを支援しています。

また、2026 年度からは活動拠点「MAYU」を開設し、「子どもとママのひみつきち」として、保護者が気軽に立ち寄り相談できる環境を整備しました。子どもたちの遊びや学びの場としてだけでなく、保護者同士の交流や情報交換の場としても活用されています。

今後も、子どもと保護者が地域の中で孤立することなく安心して生活できるよう、居場所づくり、学習支援、食支援、相談支援を一体的に実施し、家庭教育を支える活動を継続していきます。

フードパントリー & おべんとカフェ

フードパントリーとおべんとカフェ(配付)は、ひとり親さんや多子家庭を中心にし、食の支援です。

活動日は月1回、ほかにお肉やお魚を煮るミニパントリーや、長期休暇中の追加開催も行いました。

パントリーは毎年度を中心に、家庭で不足しがちな食料を配布し、お肉や魚のきょうだいに活用しています。

おべんとカフェでは、食生活支援の推進役「さんとおべんと」さんご協力のもと、栄養バランスを考えたお弁当や惣菜を提供し、親子一緒に食事をしながら、お話を聞いたり、おしゃべりしたりしながらの交流もしています。

また、参加する保護者さんたちが食生活改善などの課題や悩みを、おべんとカフェで相談し、支援や、お肉や魚のきょうだいに活用しています。

■年度内計25回開催 ■のべ3,323名参加

学習支援 「とことこまなびい」

「とことこまなびい」では、小学生を主な対象に、学習支援と食生活支援を組み合わせながら活動しています。

月1回を基本に、長期休暇中は臨時開催も行い、お肉や魚のきょうだいに活用しています。

また、お肉や魚のきょうだいに活用しています。

■年度内計11回開催 ■のべ133名参加 ■参加費無料(お肉や魚のきょうだいに活用しています)

他団体連携

今後は、食生活支援の推進役「さんとおべんと」さんご協力のもと、栄養バランスを考えたお弁当や惣菜を提供し、親子一緒に食事をしながら、お話を聞いたり、おしゃべりしたりしながらの交流もしています。

また、参加する保護者さんたちが食生活改善などの課題や悩みを、おべんとカフェで相談し、支援や、お肉や魚のきょうだいに活用しています。

■年度内計5回開催 ■のべ59名参加

